



GO:MIXER STUDIO

取扱説明書

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に『安全上のご注意』、『使用上のご注意』（『安全上のご注意』チラシ）をよくご覧ください。
お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

目次

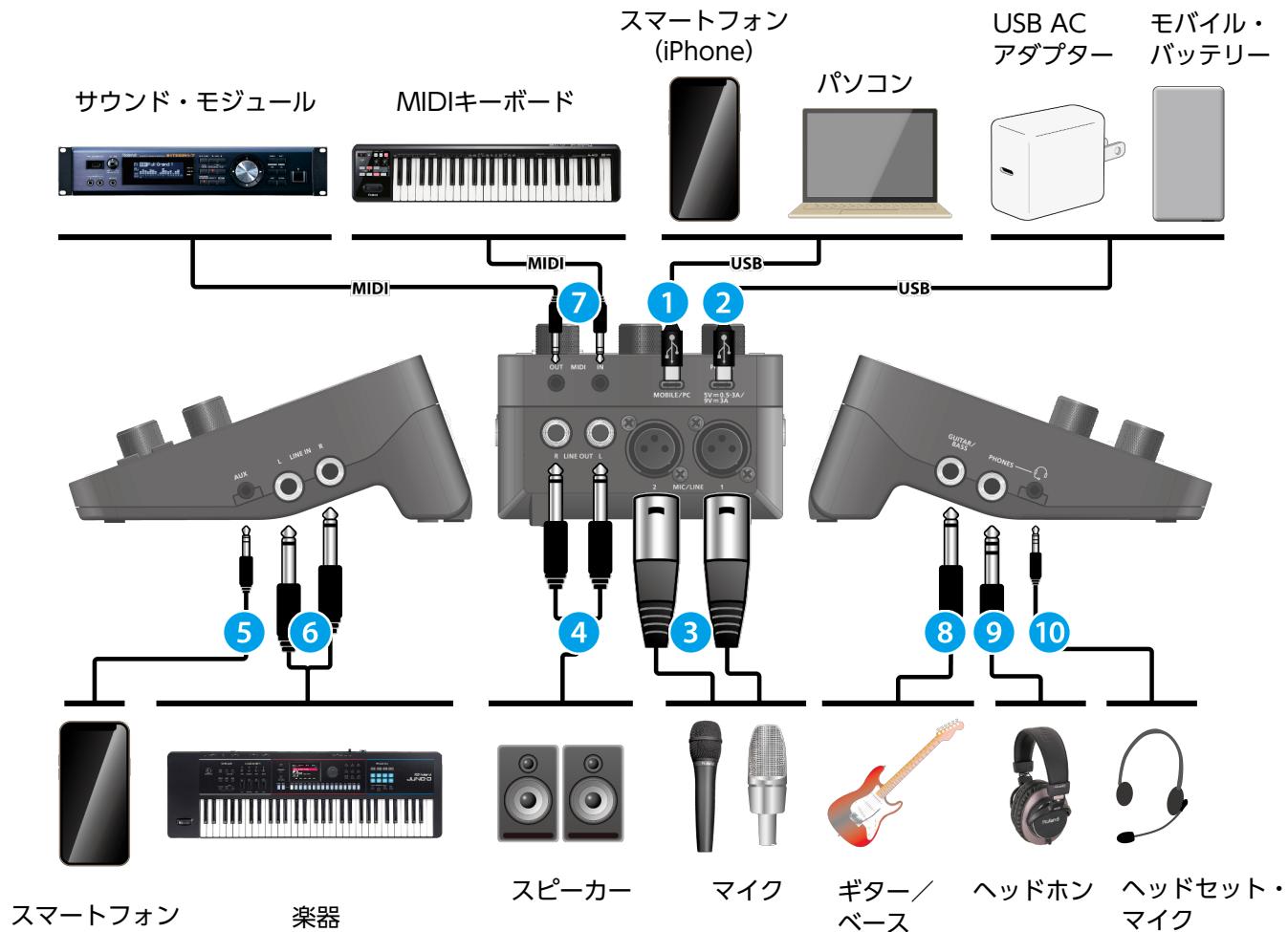
各部の名称とはたらき	3
機器を接続する	4
三脚を取り付ける	6
準備する	7
電源について	7
USB ACアダプターから給電する	7
パソコンやスマートフォン (iPhone) から給電する	8
電源を入れる／切る	8
画面の見かたと操作方法	9
トップ画面	9
エディット画面	11
メニュー画面	12
音の大きさを調節する	12
接続例	14
楽器や音響機器を接続する	14
iPad／iPhoneに接続する	14
パソコンに接続する	15
入出力の設定をする	17
エフェクトを使う	19
音の周波数特性を調整する (EQ)	20
音量のばらつきを抑える (COMP)	20
音に空間的な広がりや深みを加える (REVERB)	22
その他の機能 (MENU)	23
ミキサーの状態を保存する (SCENE MEMORY)	23
USBの設定	24
動作モードを設定する (USBドライバー)	24
MIDIインターフェース機能の設定	26
工場出荷時の状態に戻す (FACTORY RESET)	27
システム・プログラムのバージョンを確認する (FIRMWARE VERSION)	27
フェイスプレートを取りはずす／取り付ける	28
フェイスプレートを取りはずす	28
フェイスプレートを取り付ける	28
ブロック・ダイアグラム	30
主な仕様	32

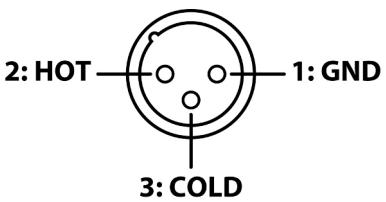
各部の名称と機能



番号	項目	説明
1	ディスプレイ	操作に応じて、さまざまな情報を表示します。
2	[1] つまみ	回す：ディスプレイの左に表示されたパラメーターを調節します。 押す：ディスプレイの左に表示されたチャンネルの設定を表示します。 長押し：ディスプレイの左に表示されたINPUT/OUTPUTをミュートします。
3	[2] つまみ	回す：ディスプレイの中央に表示されたパラメーターを調節します。 押す：ディスプレイの中央に表示されたチャンネルの設定を表示します。 長押し：ディスプレイの中央に表示されたINPUT/OUTPUTをミュートします。
4	[3] つまみ	回す：ディスプレイの右に表示されたパラメーターを調節します。 押す：ディスプレイの右に表示されたチャンネルの設定を表示します。 長押し：ディスプレイの右に表示されたINPUT/OUTPUTをミュートします。
5	[PHONES] つまみ	PHONES端子から出力される音声の音量を調節します。
6	[LINE OUT] つまみ	LINE OUT端子から出力される音声の音量を調節します。
7	[≡] ボタン	トップ画面でボタンを押すと、メニュー画面を表示します。 その他の画面では、1つ前の画面に戻ったり、操作をキャンセルしたりします。
8	[< >] ボタン	ディスプレイに表示されているページを移動します。 <ul style="list-style-type: none">ボタンの左側を押すと、左に移動します。ボタンの右側を押すと、右に移動します。

機器を接続する



番号	項目	説明
1	USB端子 (USB Type-C®)	付属のUSBケーブルでパソコンやスマートフォン (iPhone) と接続します。 ※ 本機のUSB端子には、必ず付属のUSBケーブルを使ってください。また付属のUSBケーブルは、本機との接続以外には使わないでください。
2	POWER端子 (USB Type-C®)	市販のUSB ACアダプターやスマートフォン用のモバイル・バッテリーと接続します。 ※ USB端子に接続したスマートフォン (iPhone) に給電する場合は、30W以上のUSB-PD対応ACアダプターを使用してください。
3	MIC/LINE (1, 2) 端子	マイクを接続します。 MIC/LINE (1, 2) 端子 (XLR) のピン配置  ※ 外部電源が必要なコンデンサー・マイクを使う場合は、エディット画面の [48V] スイッチをオンにしてください。 → 「エディット画面 (P.11)」 ※ ファンタム電源 (+48V) を使用する場合は、15W以上が供給できるパソコンやスマートフォン (iPhone) を接続するか、POWER端子に15W以上のUSB-PD対応ACアダプターを接続してください。

番号	項目	説明
4	LINE OUT (L、R) 端子	アンプやモニター・スピーカーに接続します。
5	AUX端子	タブレットやスマートフォンなどを接続します。 4極 (TRRS) 3.5mmミニ・プラグに対応しています。 4極ミニ・プラグのケーブルで接続すると、スマートフォンからの音声入力と、スマートフォンへモノ・ミックスの音声出力をすることができます。 ⇒ 「 SPLIT AUX OUT (P.18) 」 ※ 3極ミニ・プラグのケーブルで接続した場合は、音声入力のみになります。
6	LINE IN (L、R) 端子	キーボード、ギター、エフェクターなどを接続します。 LINE IN (L、R) 端子は、ステレオ入力に対応しています。
7	MIDI (IN、OUT) 端子	TRS/MIDIコネクティング・ケーブル (別売: BMIDIシリーズ、BCCシリーズ) で、外部MIDI機器に接続します。 ※ オーディオ機器を接続しないでください。故障の原因になります。
8	GUITAR/BASS端子	ギターやベースを接続します。 エフェクターを経由したギター（ベース）はLINE IN (L、R) 端子に接続してください。
9	PHONES端子	ステレオ標準タイプのヘッドホンを接続します。
10	PHONES (MINI) 端子	ステレオ・ミニ・タイプ (3.5mm) のインイヤー・モニターやヘッドセット・マイクを接続します。 ※ PHONES端子とPHONES (MINI) 端子を個別に音量調節することもできます。 ⇒ 「 SPLIT MINI (P.18) 」

1 録音したい楽器、マイク、オーディオ・プレーヤーなどを、GO:MIXER STUDIOに接続します。

2 付属のUSBケーブルを、GO:MIXER STUDIO → スマートフォン (iPhone) の順番で接続します。

※ スマートフォン (iPhone) で録音できない場合は、手順2の操作をゆっくりとやり直してください。

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

※ スマートフォン (iPhone) を接続したとき、またはアプリを起動したり操作したりしたときに、ノイズが聞こえる場合があります。

三脚を取り付ける

市販のカメラ用の三脚を本体底面に取り付けることができます。

※ 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。

※ 雲台の種類によっては取り付けができないものがあります。雲台の短辺サイズが48mm以下のものをお使いください。



三脚のカメラ取り付け用のネジを、
GO:MIXER STUDIO底面のネジ穴に
取り付けます。

準備する

電源について

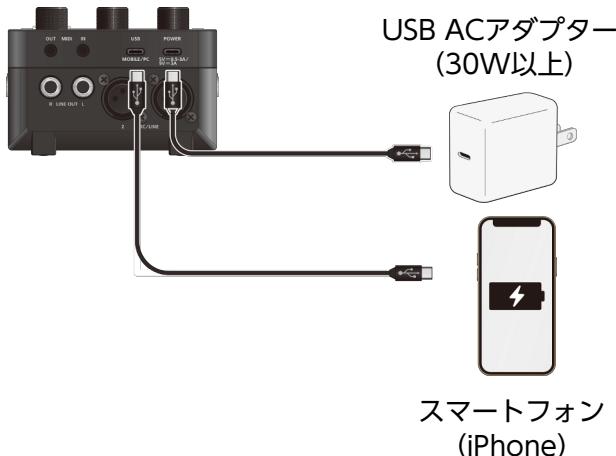
USB ACアダプターから給電する

POWER端子に給電するときは、市販のUSB ACアダプター（9V ≈ 3Aまたは5V ≈ 0.5A以上）が必要です。USB ACアダプターのメーカーによっては、正しく動作しないものがあります。



メモ

- コンデンサー・マイクにファンタム電源を供給したい場合は、15W以上のUSB ACアダプター（PD対応）をUSB Type-C®ケーブルを使って接続してください。
USB AのUSB ACアダプターを使った場合は、ファンタム電源を供給することはできません。
- 30W（9V ≈ 3A対応）以上が供給できるUSB ACアダプターを使うと、もう1方のUSB端子に接続したスマートフォン（iPhone）に給電しながら使用することができます。

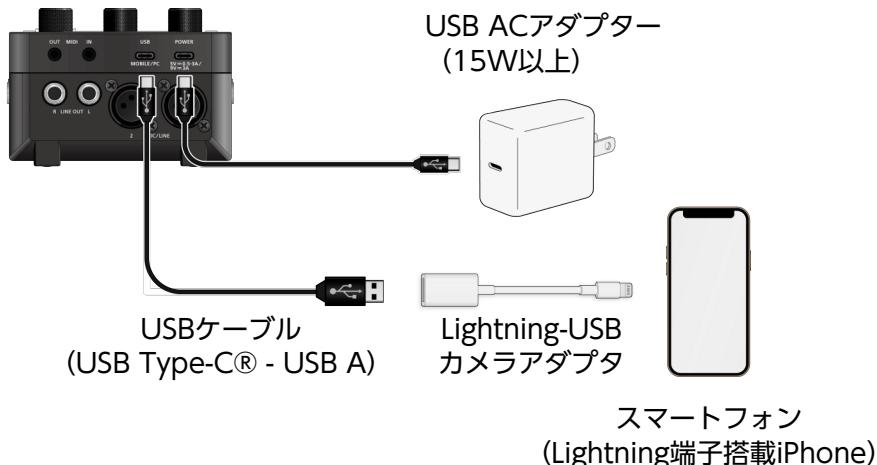


メモ

- Lightning端子を搭載したiPhone／iPadは、15W以上のUSB-PDアダプターをUSB Type-C®で接続して使用してください。

準備する

- 30W以上供給できるUSB ACアダプターを使用しても、スマートフォンに給電することはできません。



パソコンやスマートフォン (iPhone) から給電する

付属のケーブルで本機とパソコンやスマートフォン (iPhone) を接続すると、パソコンまたはスマートフォン (iPhone) から電源が供給されます。



メモ

- ファンタム電源 (+48V) を使用する場合は、パソコンまたはスマートフォン (iPhone) から15W以上の電力が供給できる必要があります。
- GO:MIXER STUDIOは、USBクラス・コンプライアント (USB Audio Class 1.0 / 2.0) に対応しています。
詳しくは、「[動作モードを設定する \(USBドライバー\) \(P.24\)](#)」をご覧ください。

電源を入れる／切る

電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。
音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがあります、故障ではありません。

電源を入れる

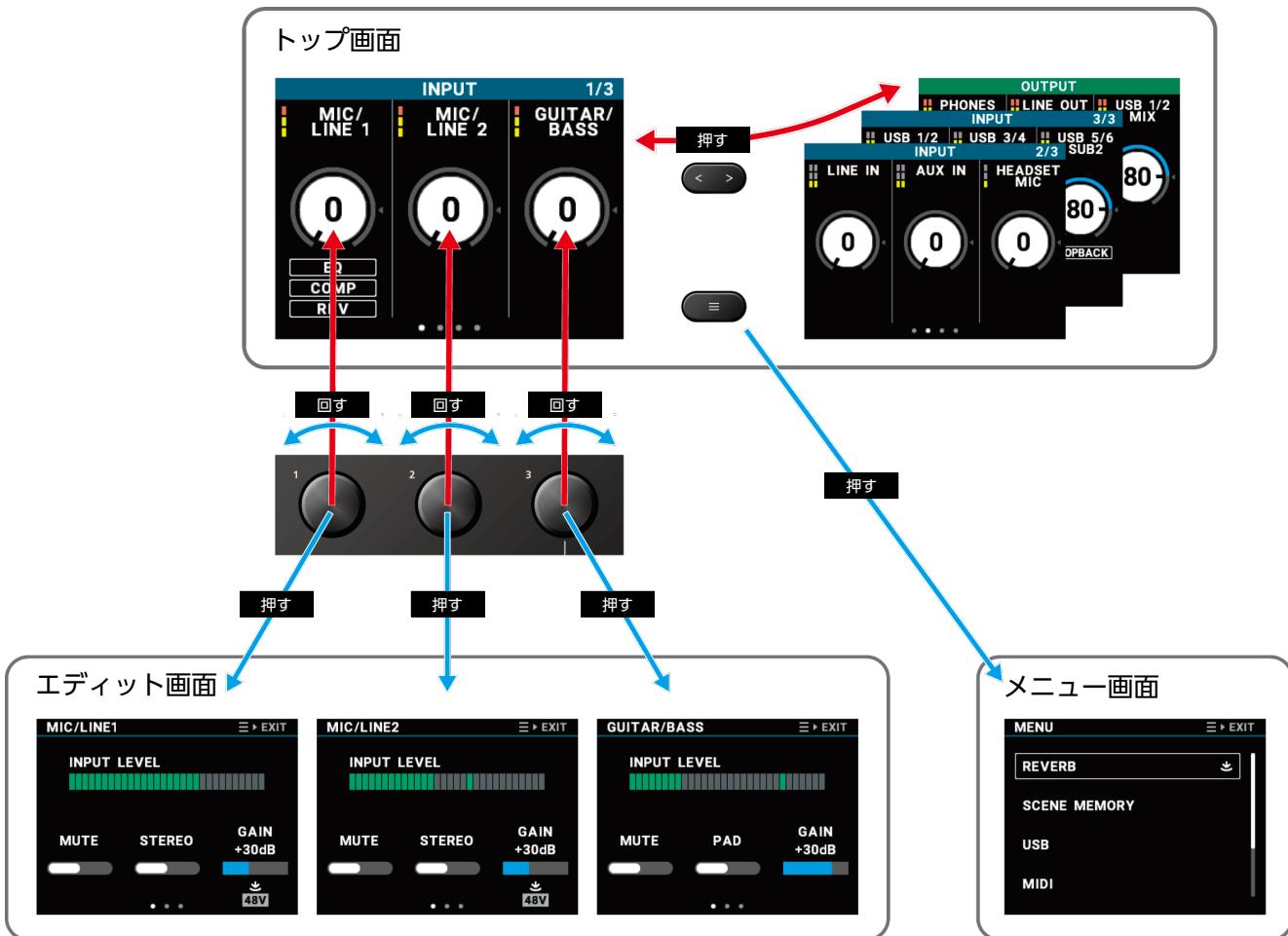
1 USB端子にパソコンやスマートフォン (iPhone) を接続すると、電源が入ります。

または、POWER端子にUSB ACアダプターを接続すると、電源が入ります。

電源を切る

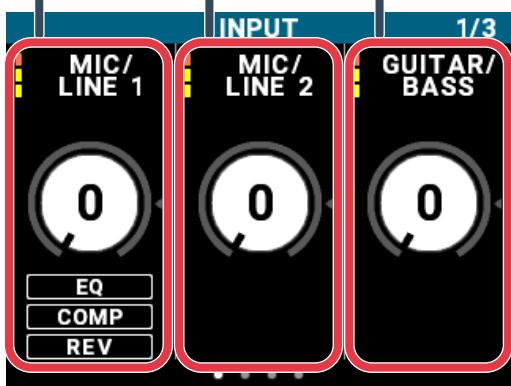
1 USB端子、POWER端子に接続したUSBケーブルを取りはずすと、電源が切れます。

画面の見かたと操作方法



トップ画面

- [1] つまみを使って操作します。
- [2] つまみを使って操作します。
- [3] つまみを使って操作します。

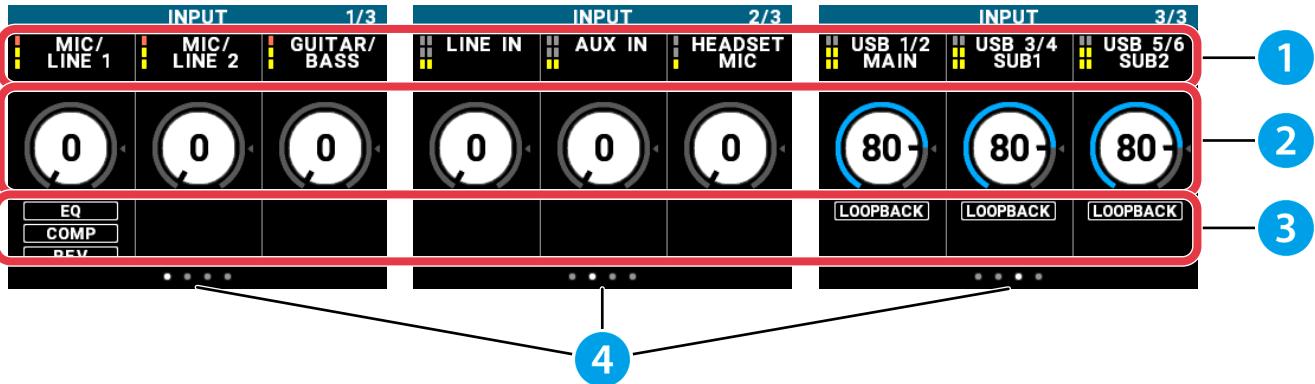


操作子	説明
[1] ~ [3] つまみ	回す：インプット・レベルまたはアウトプット・レベルを調節します。 押す：チャンネルの設定画面を表示します。 長押し：ミュートのオン／オフを切り替えます。

準備する

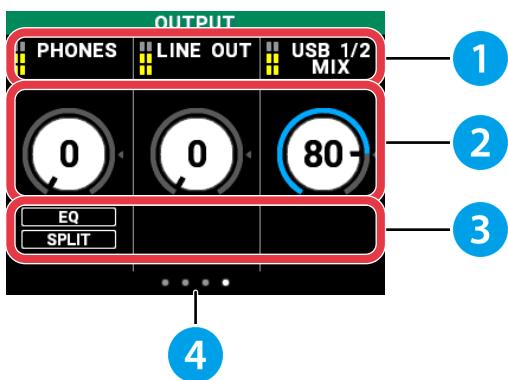
操作子	説明
[≡] ボタン	メニューを開きます。
[< >] ボタン	表示するINPUT／OUTPUT画面を切り替えます。

インプット・チャンネル



番号	項目	説明
1	チャンネル名	チャンネル名が表示されています。
	レベル・メーター	チャンネル名の左側にミックス・レベルが表示されます。チャンネルがステレオのときは、レベル・メーターもステレオで表示されます。
2	ミックス・レベル	対応する [1] ~ [3] つまみを回して、ミックス・レベルを調節します。 ミュートしているときは、ミュート・アイコンが表示されます。
	エフェクト表示	チャンネルで有効になっているエフェクトが表示されます。
3	ループバック表示	ループバックが有効になっているときに表示されます。
	カルーセル表示	[< >] ボタンでINPUT／OUTPUT画面を切り替えたとき、全体の何番目の画面が表示されているか確認できます。

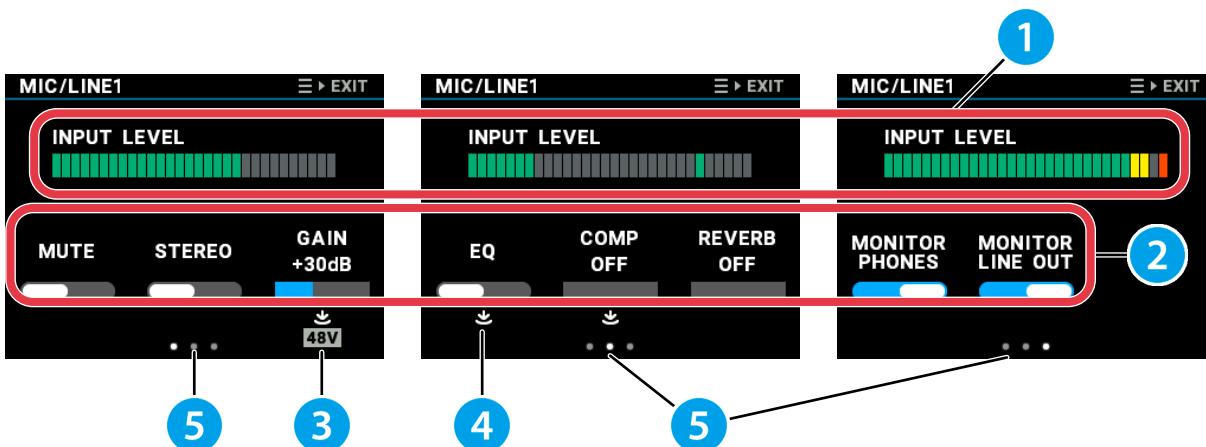
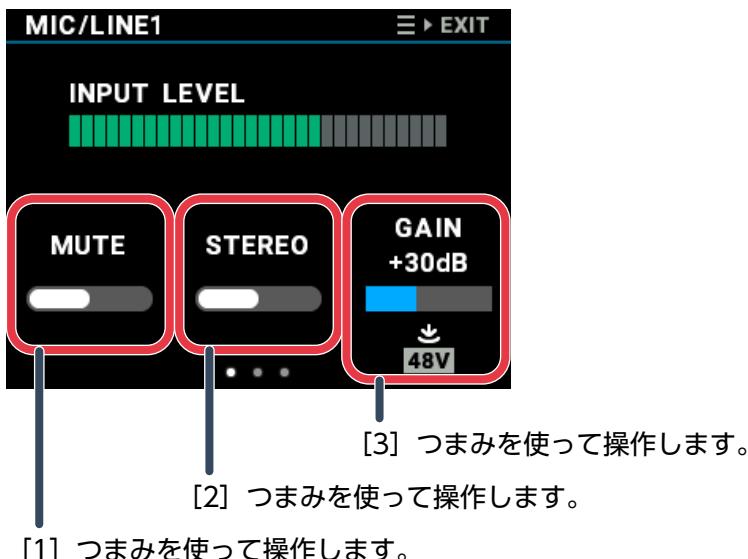
アウトプット・チャンネル



番号	項目	説明
1	チャンネル名	チャンネル名が表示されています。
	レベル・メーター	チャンネル名の左側にアウトプット・レベルが表示されます。
2	アウトプット・レベル	対応する [1] ~ [3] つまみを回して、アウトプット・レベルを調節します。 ミュートしているときは、ミュート・アイコンが表示されます。

番号	項目	説明
3	EQ/SPLIT表示	EQが有効になっているときに表示されます。 PHONESチャンネルでスプリットが有効になっているときに表示されます。
4	カルーセル表示	[< >] ボタンでINPUT/OUTPUT画面を切り替えたとき、全体の何番目の画面が表示されているか確認できます。

エディット画面

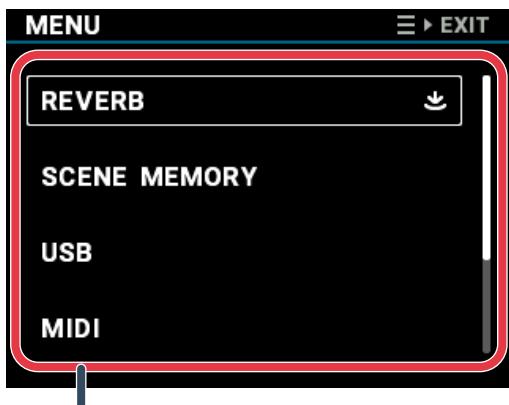


番号	項目	説明
1	レベル・メーター	チャンネルのインプット・レベル、またはアウトプット・レベルを表示します。
2	設定項目	対応する [1] ~ [3] つまみを回して、設定を変更します。
3	48V	[3] つまみを押して、ファンタム電源をオン／オフします。 ※ ファンタム電源 (+48V) を使用する場合は、15W以上のUSB ACアダプター (PD対応) をUSB Type-C®で接続して使用してください。
4	(push) アイコン	詳細設定画面を表示します。

準備する

番号	項目	説明
5	カルーセル表示	[< >] ボタンでINPUT／OUTPUT画面を切り替えたとき、全体の何番目の画面が表示されているか確認できます。

メニュー画面



[3] つまみで操作します。

項目	説明
REVERB	リバーブの設定をします。
SCENE MEMORY	シーン・メモリーの保存や呼び出しをします。
USB	USB ドライバーやオーディオの設定をします。
MIDI	TRS MIDI THRUのオン／オフを設定します。
FACTORY RESET	工場出荷時の状態に戻します。
FIRMWARE VERSION	システムのバージョンを表示します。

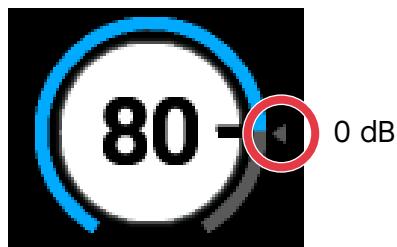
音の大きさを調節する



インプットの音量を調節する

INPUT 1/3～3/3画面で対応したつまみを回して、各インプットの音量を調節します。

- 1** 調節したいチャンネルのつまみで、インプット・レベルを80 (0dB) に設定します。



- 2** つまみを押して、チャンネルの設定画面を表示します。

- 3** レベル・メーターが赤点灯しない程度にGAINパラメーターを調節します。

メモ

MIC/LINE1、MIC/LINE2、GUITAR/BASS、HEADSET MICは、赤点灯しない程度にゲインを調節します。

画面（[< >] ボタン）	[1] つまみ	[2] つまみ	[3] つまみ
INPUT (1/3)	MIC/LINE 1	MIC/LINE 2	GUITAR/BASS
INPUT (2/3)	LINE IN	AUX IN	HEADSET MIC
INPUT (3/3)	USB 1/2 MAIN	USB 3/4 SUB1	USB 5/6 SUB2

メモ

MIC/LINE1、MIC/LINE2、LINE IN、AUXに接続した機器は、それぞれの機器で音量を調節してください。

アウトプットの音量を調節する

対応したつまみを回して、各アウトプットの音量を調節します。

画面（[< >] ボタン）	[PHONES] つまみ	[LINE OUT] つまみ	[3] つまみ
OUTPUT	PHONES (*1)	LINE OUT (*2)	USB 1/2 MIX

*1 PHONES端子の音量を変えずにPHONES (MINI) 端子の音量を変えることができます。

→ 「SPLIT MINI (P.18)」

*2 LINE OUT端子の音量を変えずにAUX端子（出力）の音量を変えることができます。

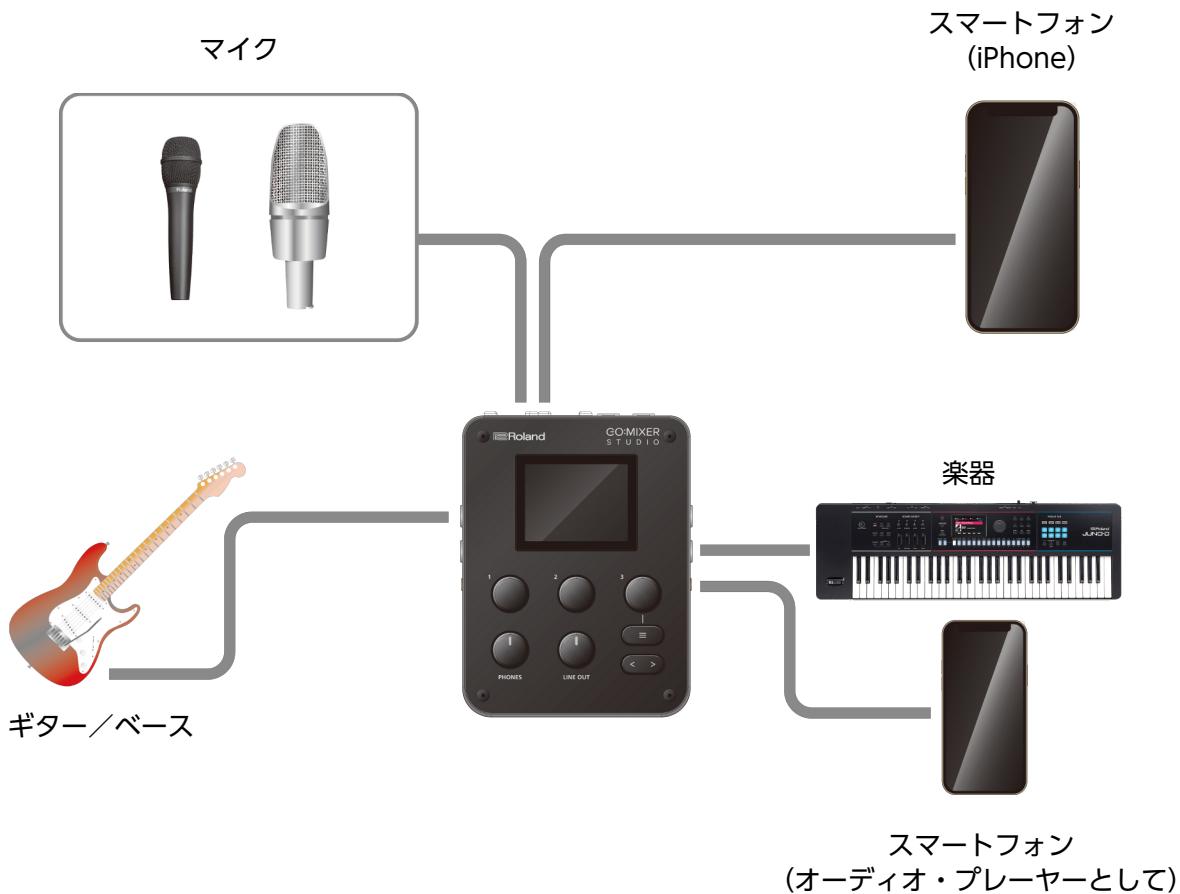
→ 「SPLIT AUX OUT (P.18)」

接続例

楽器や音響機器を接続する

1 録音したい楽器、マイク、オーディオ・プレーヤーなどを、**GO:MIXER STUDIO**に接続します。

2 USBケーブルを、**GO:MIXER STUDIO**、スマートフォン（iPhone）の順番で接続します。



- スマートフォン（iPhone）で録音できない場合は、機器との接続をやり直してください。

- 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての楽器の電源を切ってください。
- スマートフォン（iPhone）を接続したとき、またはアプリを起動したり操作したりしたときに、ノイズが聞こえる場合があります。

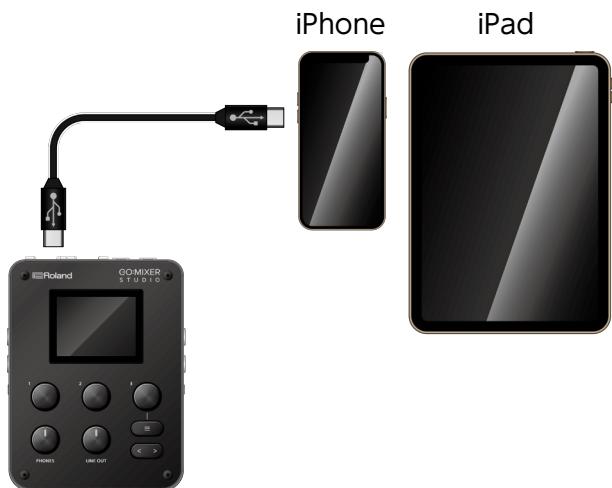
注意

- 本機のUSB端子には、必ず付属のUSBケーブルを使ってください。また付属のUSBケーブルは、本機との接続以外には使わないでください。
- ギターやベースはGUITAR/BASS端子、マイクはMIC/LINE端子、ヘッドセット・マイクはPHONES (MINI) 端子に接続してください。マイクやギターを接続しないときは、各INPUTを「0」に設定してください。「0」にしないとノイズが入る場合があります。

iPad／iPhoneに接続する

USB Type-C®ケーブルを使って、USB Type-C®搭載のiPhoneやiPadを接続します。

1 GO:MIXER STUDIOのUSB端子にiPhoneやiPadを接続します。



メモ

Lightning端子を搭載したiPhone／iPadは、15W以上のUSB ACアダプター（PD対応）をUSB Type-C®で接続して使用してください。

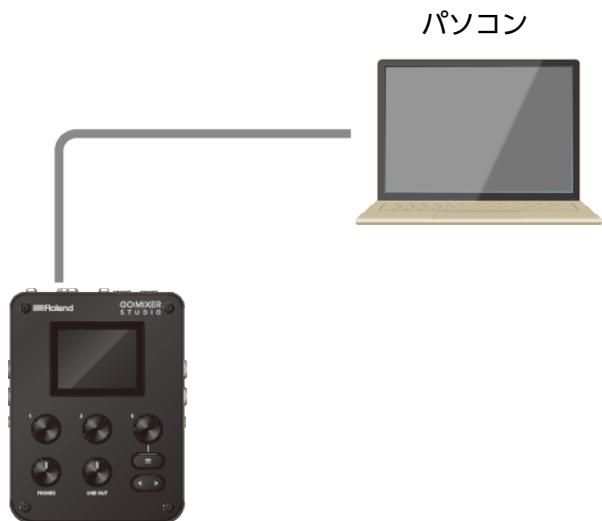
USB-PDアダプター
(15W以上)



パソコンに接続する

USB Type-C®ケーブルを使ってパソコンを接続します。

- 1 GO:MIXER STUDIOのUSB端子にパソコンを接続します。



→ 「USBの設定 (P.24)」

入出力の設定をする

1 トップ画面で [<>] ボタンを押して、設定したい入出力の画面を表示させます。

2 対応する [1] ~ [3] つまみを押します。

設定画面が表示されます。

画面上部のレベル・メーターでINPUT／OUTPUTのレベルが確認できます。

MIC/LINE1、MIC/LINE2

パラメーター	設定値	説明
MUTE	オフ、オン	つまみを回して、ミュートをオン／オフします。
GAIN	0～+75dB	つまみを回して、マイクの感度を調節します。ライン機器を接続する場合は、歪みやすいので値を小さくしてください。 メモ <ul style="list-style-type: none">レベル・メーターが赤点灯しない程度にゲインを調節してください。つまみを押して、ファンタム電源をオン／オフすることができます。ファンタム電源を使うときは、15W以上の電源供給が必要です。 → 「USB ACアダプターから給電する (P.7)」 → 「パソコンやスマートフォン (iPhone) から給電する (P.8)」
STEREO	オフ、オン	つまみを回して、MIC/LINE1とMIC/LINE2を2つの独立したインプットにするか（オフ）、1つのステレオ・インプットにするか（オン）を設定します。 ※ オンに設定したときは、MIC/LINE2の設定値はMIC/LINE1の設定値に統合されます。オフにすると元の設定値に戻ります。
MONITOR PHONES	オフ、オン	つまみを回して、PHONES端子からの出力をオン／オフします。
MONITOR LINE OUT	オフ、オン	つまみを回して、LINE OUT (L, R) 端子からの出力をオン／オフします。

GUITAR/BASS

パラメーター	設定値	説明
MUTE	オフ、オン	つまみを回して、ミュートをオン／オフします。
PAD	オフ、オン	つまみを回して、PADをオン／オフします。 アクティブ・ピックアップのギター／ベースなど出力の大きな機器を接続する場合、PADをオンにすることで入力信号を抑えて、歪みを少なくすることができます。
GAIN	0～+40dB	つまみを回して感度を調節します。 メモ 強く弾いたときにレベル・メーターが赤まで振らない程度にゲインを調節してください。
MONITOR PHONES	オフ、オン	つまみを回して、PHONES端子からの出力をオン／オフします。
MONITOR LINE OUT	オフ、オン	つまみを回して、LINE OUT (L, R) 端子からの出力をオン／オフします。

LINE IN、AUX IN

パラメーター	設定値	説明
MUTE	オフ、オン	つまみを回して、ミュートをオン／オフします。
MONITOR PHONES	オフ、オン	つまみを回して、PHONES端子からの出力をオン／オフします。
MONITOR LINE OUT	オフ、オン	つまみを回して、LINE OUT (L, R) 端子からの出力をオン／オフします。

入出力の設定をする

HEADSET MIC

パラメーター	設定値	説明
MUTE	オフ、オン	つまみを回して、ミュートをオン／オフします。
GAIN	0～+40dB	つまみを回して、PHONES (MINI) 端子に接続したヘッドセット・マイクの感度を調節します。 メモ レベル・メーターが赤まで振らない程度にゲインを調節してください。
MONITOR PHONES	オフ、オン	つまみを回して、PHONES端子からの出力をオン／オフします。
MONITOR LINE OUT	オフ、オン	つまみを回して、LINE OUT (L, R) 端子からの出力をオン／オフします。

USB 1/2、3/4、5/6

パラメーター	設定値	説明
MUTE	オフ、オン	つまみを回して、ミュートをオン／オフします。
LOOPBACK	オフ、オン	つまみを回して、ループバックをオン／オフします。 オンのときは、パソコンから各USBチャンネルに再生した音声を、パソコンのMIXチャンネル戻すことができます。
MONITOR PHONES	オフ、オン	つまみを回して、PHONES端子からの出力をオン／オフします。
MONITOR LINE OUT	オフ、オン	つまみを回して、LINE OUT (L, R) 端子からの出力をオン／オフします。

PHONES

パラメーター	設定値	説明
MUTE	オフ、オン	つまみを回して、ミュートをオン／オフします。
SPLIT MINI	オフ、オン	つまみを回して、PHONES端子とPHONES (MINI) 端子を個別に音量調節するかを設定します。 オンにするとOUTPUT画面の表示中は、PHONES (MINI) の音量を [1] つまみで調節できるようになります。

LINE OUT

パラメーター	設定値	説明
MUTE	オフ、オン	つまみを回して、ミュートをオン／オフします。
SPLIT AUX OUT	オフ、オン	つまみを回して、LINE OUT端子とAUX端子（出力）を個別に音量調節するかを設定します。 オンにするとOUTPUT画面の表示中は、AUX端子（出力）の音量を [2] つまみで調節できるようになります。 AUX端子に4極ミニ・プラグのケーブルで接続したときに、モノ・ミックスの音声を出力することができます。
AUX SRC	LINE OUT、PHONES	AUX端子から出力する音声を選びます。

エフェクトを使う

エフェクトの機能を使うと、手軽に音質を変化させることができ、オーディオ編集などに大変便利です。また、サウンド再生時やマイクやギターなどの録音時に威力を発揮する3タイプのデジタル・エフェクトを搭載し、3つのつまみを使って簡単に音づくりをすることができます。ライン入力やデジタル入力からの音声にエフェクトをかけることもできます。

1 エフェクトをかけたいチャンネルを画面に表示します。

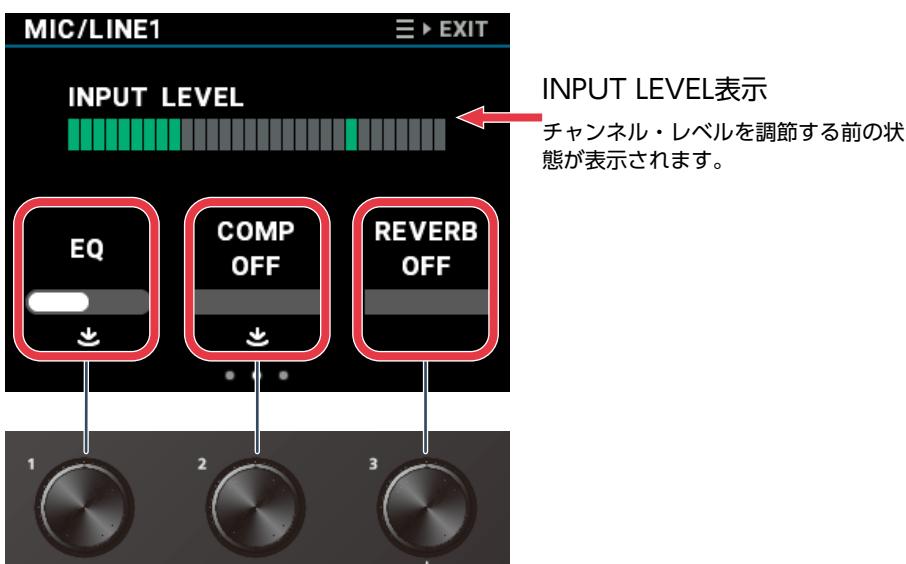
2 対応する [1] ~ [3] つまみを押します。

インプットの設定画面が表示されます。

3 [< >] ボタンで2ページを選びます。

注意

サンプル・レートの設定やチャンネルによって、すべてのエフェクトが表示されないことがあります。



パラメーター	設定値	説明
EQ	オフ、オン	低域、中域、高域の音量を調節します。 [1] つまみを回して、EQをオン／オフします。 [1] つまみを押すと、EQの設定画面を表示します。 → 「音の周波数特性を調整する (EQ) (P.20)」
COMP	オフ、1~30	大きなレベルの音を抑え、小さなレベルの音を持ち上げることで、全体の音量のばらつきを抑えます。 [2] つまみを回して、COMPのかかり具合を設定します。この値を調節すると、COMPの設定画面内の各パラメーターが最適な値に設定されます。 [2] つまみを押すと、COMPの設定画面を表示します。 → 「音量のばらつきを抑える (COMP) (P.20)」
REVERB	オフ、1~100	リバーブのかかり具合を調節します。 [3] つまみを回して、REVERBへのセンド量を調節します。 → 「音に空間的な広がりや深みを加える (REVERB) (P.22)」

エフェクトを使う

チャンネルごとのエフェクト・リスト

チャンネルやサンプル・レートによって使えるエフェクトが異なります。

チャンネル	44.1 / 48kHz	96kHz	192kHz
MIC/LINE 1、2	EQ COMP REVERB	EQ COMP REVERB	EQ
GUITAR/BASS	EQ COMP REVERB	EQ REVERB	EQ
LINE IN	EQ COMP	EQ	EQ
AUX	EQ COMP	EQ	EQ
HEADSET MIC	EQ COMP	EQ	EQ
PHONES	EQ	EQ	EQ
LINE OUT	EQ	EQ	EQ

音の周波数特性を調整する (EQ)

パラメーター	詳細パラメーター	設定値	説明
EQ LO	---	-12～+12 [dB]	[1] つまみを回して、低域の増幅／減衰量を調節します。 [1] つまみを押すと、詳細設定画面を表示します。
	FREQ	16.0～24.0k [Hz]	低域の基準周波数を設定します。
	Q	0.4～16.0	低域の幅を設定します。 値を大きくするほど幅が狭くなります。
EQ MID	---	-12～+12 [dB]	[2] つまみを回して、中域の増幅／減衰量を調節します。 [2] つまみを押すと、詳細設定画面を表示します。
	FREQ	16.0～24.0k [Hz]	中域の基準周波数を設定します。
	Q	0.4～16.0	中域の幅を設定します。 値を大きくするほど幅が狭くなります。
EQ HI	---	-12～+12 [dB]	[3] つまみを回して、高域の増幅／減衰量を調節します。 [3] つまみを押すと、詳細設定画面を表示します。
	FREQ	16.0～24.0k [Hz]	高域の基準周波数を設定します。
	Q	0.4～16.0	高域の幅を設定します。 値を大きくするほど幅が狭くなります。

音量のばらつきを抑える (COMP)

パラメーター	設定値	説明
TYPE	CHCP-4K、 OPTCP-2A、 FETCP-76	コンプレッサーのタイプを選びます。 CHCP-4K：業務用ミキサーなどに搭載される、エクスパンダーを搭載したコンプレッサーをモデリングしています。 OPTCP-2A：真空管を用いたビンテージな光学式コンプレッサーをモデリングしています。 FETCP-76：スタジオ・ユースでは定番のFETコンプレッサーをモデリングしています。

CHCP-4Kパラメーター

パラメーター	設定値	説明
THRES	-60~0 [dB]	圧縮をする基準レベルを調節します。
RATIO	0.00~1.00	圧縮比を調節します。 1.00にすると、リミッターとして機能します。
FAST ATK	オフ、オン	オンにすると、3msec以内に20dB圧縮する高速モードになります。
RELEASE	0~4000 [msec]	入力がスレッショルドより小さくなったとき、圧縮がかかっている状態から圧縮を止めるまでの時間を調節します。
EXPANDER	オフ、オン	エクスパンダーをオン／オフします。
EXP THRES	-60~0 [dB]	ノイズ抑制をするしきいを調節します。
EXP RANGE	0.00~1.00	エクスパンダー／ゲートの効きの強さを調節します。 0.00にすると効果は無効になり、1.00にすると最大50dBのノイズ抑制がかかります。
EXP RELS	0~4000 [msec]	信号レベルがスレッショルドを下回ったとき、エクスパンダーの効果を強めていくスピードを設定します。

OPTCP-2Aパラメーター

パラメーター	設定値	説明
PEAK REDU	0~100	圧縮をする基準レベルを調節します。
GAIN	0~100	出力する音量を調節します。
HF	0~100	高域信号の圧縮感度を調節します。

FETCP-76パラメーター

パラメーター	設定値	説明
IN LEVEL	-Inf, -60~0 [dB]	入力される音量を調節します。
OUT LEVEL	-Inf, -60~0 [dB]	出力される音量を調節します。
ATTACK	0.0~7.0	スレッショルドを超える入力があったとき、音量を圧縮するまでの時間を調節します。 0.0にすると、圧縮がかかるまでの時間が最も長くなります。
RELEASE	0.0~7.0	入力がスレッショルドより小さくなったとき、圧縮がかかっている状態から圧縮を止めるまでの時間を調節します。 0.0にすると、圧縮を止めるまでの時間が最も長くなります。
RATIO	4:1、8:1、12:1、20:1、 ALL	圧縮比を調節します。 ALLのときは、すべてが選ばれたときと同じ挙動になります。

※ FETCP-76を選ぶと、パラメーターの設定によっては極端に大きな音量が出力されることがあります。また、FETCP-76に極端に大きな音量の信号を入力すると、出力音が歪んだりノイズが発生したりすることがあります。この場合は、IN LEVELやOUT LEVELを下げるなどして音量を調節してください。

音に空間的な広がりや深みを加える (REVERB)

- 1 トップ画面で [≡] ボタンを押します。
- 2 [3] つまみを回して「REVERB」を選び、[3] つまみを押します。
- 3 [<>] ボタンでページを切り替え、[1] ~ [3] つまみで設定値を変更します。

パラメーター	設定値	説明
LEVEL	-Inf, -60~0 [dB]	リバーブを通した音の音量を設定します。
SELECTION	R0.3~R37、 H15~H37、 P-B、 P-A	Roland DIGITAL REVERB SRV-2000のリバーブの種類を選びます。 R0.3~R37 : ルーム・リバーブ。 値を大きくするほど部屋の大きさが大きくなります。 H15~H37 : ホール・リバーブ。 値を大きくするほどコンサート・ホールの大きさが大きくなります。 P-B : プレート・リバーブ。 P-Aよりも派手なリバーブ音です。 P-A : プレート・リバーブ。
PRE DELAY	0~160 [msec]	原音が鳴ってからリバーブ音が鳴るまでの遅延時間を調節します。
TIME	0.1~99.0 [sec]	リバーブ音の余韻の長さを調節します。
HF DAMP	0.05~1.00	リバーブ音の高域成分を調節します。

その他の機能 (MENU)

ミキサーの状態を保存する (SCENE MEMORY)

シーンを保存する (WRITE)

- 1 トップ画面で [≡] ボタンを押します。
- 2 [3] つまみを回して「SCENE MEMORY」を選び、 [3] つまみを押します。
- 3 [3] つまみを回して「WRITE」を選び、 [3] つまみを押します。
SCENE MEMORY WRITE画面が表示されます。
- 4 [3] つまみを回して保存先を選び、 [3] つまみを押します。
リネーム画面が表示されます。

操作	[1] つまみ	[2] つまみ	[3] つまみ
回す	文字を選びます。	カーソルを移動します。	大文字、小文字、数字を切り替えます。
押す	1文字挿入します。	1文字削除します。	変更を確定して、リネーム画面を閉じます。

- 5 [3] つまみを押して保存します。
キャンセルするときは、 [≡] ボタンを押します。
- 保存したシーンを読み込む (LOAD)
- 1 トップ画面で [≡] ボタンを押します。
- 2 [3] つまみを回して「SCENE MEMORY」を選び、 [3] つまみを押します。
- 3 [3] つまみを回して「LOAD」を選び、 [3] つまみを押します。
SCENE MEMORY LOAD画面が表示されます。
- 4 [3] つまみを回して読み込むシーンを選び、 [3] つまみを押します。
確認画面が表示されます。
- 5 [3] つまみを押して読み込みます。
キャンセルするときは、 [≡] ボタンを押します。

USBの設定

1 トップ画面で [≡] ボタンを押します。

2 [3] つまみを回して「USB」を選び、[3] つまみを押します。

USB画面が表示されます。

パラメーター	設定値	説明																
MODE	2 ch、 MULTI-CH、 Windows	GO:MIXER STUDIOの出力モードを選びます。 ※ 設定を有効にするためには、本機の電源を入れ直す必要があります。 ⇒ 「動作モードを設定する (USBドライバー) (P.24)」																
SOURCE	DIRECT、 PREFADER、 POSTFADER	MODEでMULTI-CH、またはWindowsを選んでいるときの音声 (MIX L/R以外のチャンネル) の出力のしかたを設定します。 DIRECT : EQやエフェクトのかかっていない入力ゲイン調整後の信号が、チャンネルごとにUSBから出力されます。 PREFADER : 音量調整する前の信号が、チャンネルごとにUSBから出力されます。ミックス・バランスをDAWなどで調整する場合に使用します。 POSTFADER : ミックス・バランスを調整した信号が、チャンネルごとにUSBから出力されます。 <table border="1"><thead><tr><th>設定値</th><th>音声</th><th>エフェクト</th><th>音量調節</th></tr></thead><tbody><tr><td>DIRECT</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>PREFADER</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td></tr><tr><td>POSTFADER</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr></tbody></table>	設定値	音声	エフェクト	音量調節	DIRECT	○	-	-	PREFADER	○	○	-	POSTFADER	○	○	○
設定値	音声	エフェクト	音量調節															
DIRECT	○	-	-															
PREFADER	○	○	-															
POSTFADER	○	○	○															

3 [≡] ボタンを押します。

モード、サンプル・レートを変更した場合は、再起動の確認画面が表示されます。

メモ

- モード、サンプル・レートを変更していない場合は、MENU画面に戻ります。
- キャンセルする場合は、[≡] ボタンを押します。

4 [3] つまみを押します。

自動的に再起動して設定が更新されます。

動作モードを設定する (USBドライバー)

GO:MIXER STUDIOは、USBクラス・コンプライアント (USB Audio Class 1.0/2.0) に対応しています。

1 トップ画面で [≡] ボタンを押します。

2 [3] つまみを回して「USB」を選び、 [3] つまみを押します。

USB画面が表示されます。

3 [1] つまみを回してモードを設定します。

モード	対応OS	USBクラス・コンプライアント	入出力	サンプル・レート
2 ch	Windows、macOS、iOS	USB Audio Class 1.0	2イン、2アウト	48kHz
MULTI-CH	Windows (*1)、macOS、iOS	USB Audio Class 2.0	12イン、6アウト (8イン、4アウト *3)	44.1kHz、 48kHz、 96kHz、 192kHz (*3)
Windows	Windows (*2)	Vendor	12イン、6アウト (8イン、4アウト *3)	44.1kHz、 48kHz、 96kHz、 192kHz (*3)

*1：パソコンの機種によって正しく動作しないことがあります。動作しない場合は、モードをWindowsに設定して使用してください。

*2：Windowsパソコンは、モードをWindowsに設定して使用することを推奨しています。モードをWindowsに設定して使用するときは、USBドライバーをローランドのホームページからダウンロードしてインストールしてください。ASIOで使用する場合は、必ずモードをWindowsに設定してください。

<https://roland.cm/gomixerst>

*3：サンプル・レートが192kHzのときは、IN/OUTのチャンネル数が変わります。

4 [≡] ボタンを押します。

再起動の確認画面が表示されます。

キャンセルする場合は、 [≡] ボタンを押します。

5 [3] つまみを押します。

自動的に再起動して設定が更新されます。

モードごとの入出力の仕様

モード	Input (to PC)	Output (from PC)	サンプル・レート	ビットレート	MIDI
2 ch	2イン	2アウト	48kHz	24bit	2イン、2アウト

その他の機能 (MENU)

モード	Input (to PC)	Output (from PC)	サンプル・レート	ビットレート	MIDI
MULTI-CH	12イン 1: MIX L 2: MIX R 3: MIC/LINE 1 4: MIC/LINE 2 5: GUITAR/BASS L 6: GUITAR/BASS R 7: LINE IN L 8: LINE IN R 9: AUX L 10: AUX R 11: HEADSET MIC L 12: HEADSET MIC R	6アウト 1: MAIN OUT L 2: MAIN OUT R 3: SUB1 OUT L 4: SUB1 OUT R 5: SUB2 OUT L 6: SUB2 OUT R	44.1kHz 48kHz 96kHz	24bit	2イン、2アウト
	8イン 1: MIX L 2: MIX R 3: MIC/LINE 1 4: MIC/LINE 2 5: GUITAR/BASS L 6: GUITAR/BASS R 7: LINE IN L 8: LINE IN R	4アウト 1: MAIN OUT L 2: MAIN OUT R 3: SUB1 OUT L 4: SUB1 OUT R	192kHz		
Windows	12イン 1: MIX L 2: MIX R 3: MIC/LINE 1 4: MIC/LINE 2 5: GUITAR/BASS L 6: GUITAR/BASS R 7: LINE IN L 8: LINE IN R 9: AUX L 10: AUX R 11: HEADSET MIC L 12: HEADSET MIC R	6アウト 1: MAIN OUT L 2: MAIN OUT R 3: SUB1 OUT L 4: SUB1 OUT R 5: SUB2 OUT L 6: SUB2 OUT R	44.1kHz 48kHz 96kHz	24bit	2イン、2アウト
	8イン 1: MIX L 2: MIX R 3: MIC/LINE 1 4: MIC/LINE 2 5: GUITAR/BASS L 6: GUITAR/BASS R 7: LINE IN L 8: LINE IN R	4アウト 1: MAIN OUT L 2: MAIN OUT R 3: SUB1 OUT L 4: SUB1 OUT R	192kHz		

注意

- MULTI-CH、Windowsでお使いのとき、アプリによってはすべてのポートが選べないことがあります。
- MULTI-CH、Windowsを選ぶと、お使いのアプリがクラッシュすることがあります。そのときは、2 chでお使いください。

MIDIインターフェース機能の設定

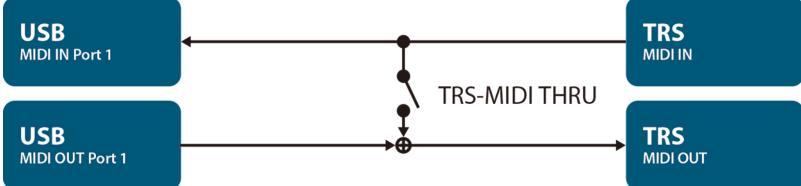
パソコンとUSB接続すると、1イン、1アウトのMIDIインターフェースとして動作します。

MIDI端子 (TRS) にTRS/MIDIコネクティング・ケーブル (別売: BMIDIシリーズ、BCCシリーズ) で、外部MIDI機器に接続してお使いください。

1 トップ画面で [≡] ボタンを押します。

2 [3] つまみを回して「MIDI」を選び、[3] つまみを押します。

MIDI画面が表示されます。

パラメーター	設定値	説明
TRS-MIDI THRU	オフ、オン	TRS MIDI IN端子から入ってきたMIDI信号をそのままTRS MIDI OUT端子から送信するか（オン）、送信しないか（オフ）を設定します。 

3 [≡] ボタンを押して、MENU画面に戻ります。

4 もう一度 [≡] ボタンを押して、トップ画面に戻ります。

工場出荷時の状態に戻す (FACTORY RESET)

1 トップ画面で [≡] ボタンを押します。

2 [3] つまみを回して「FACTORY RESET」を選び、[3] つまみを押します。

確認画面が表示されます。

3 [3] つまみを押して、ファクトリー・リセットを実行します。

キャンセルするときは、[≡] ボタンを押します。

完了すると、自動的に再起動します。

システム・プログラムのバージョンを確認する (FIRMWARE VERSION)

1 トップ画面で [≡] ボタンを押します。

2 [3] つまみを回して「FIRMWARE VERSION」を選び、[3] つまみを押します。

FIRMWARE VERSION画面が表示されます。

3 [≡] ボタンを押して、MENU画面に戻ります。

4 もう一度 [≡] ボタンを押して、トップ画面に戻ります。

フェイスプレートを取りはずす／取り付ける

トップ・パネルをカスタマイズするときは、本体からフェイスプレートを取りはずすことができます。

注意

- フェイスプレートを取りはずす／取り付けるときは、フェイスプレートの端で手などを切らないようにご注意ください。
- 取りはずしたフェイスプレートに強い衝撃を与えると、プレートが曲がって本機に装着できなくなる場合があります。

準備するもの

六角レンチ（1.5mm、市販品）



フェイスプレートを取りはずす

- 1 市販の六角レンチを使って、本体左側のネジ2本をはずします。



- 2 本体右側のネジ2本をはずします。



- 3 フェイスプレートを取りはずします。

フェイスプレートを取り付ける

フェイスプレートを取りはずしたときとは逆の順番で取り付けます。

- 1 本体の上にフェイスプレートを載せます。

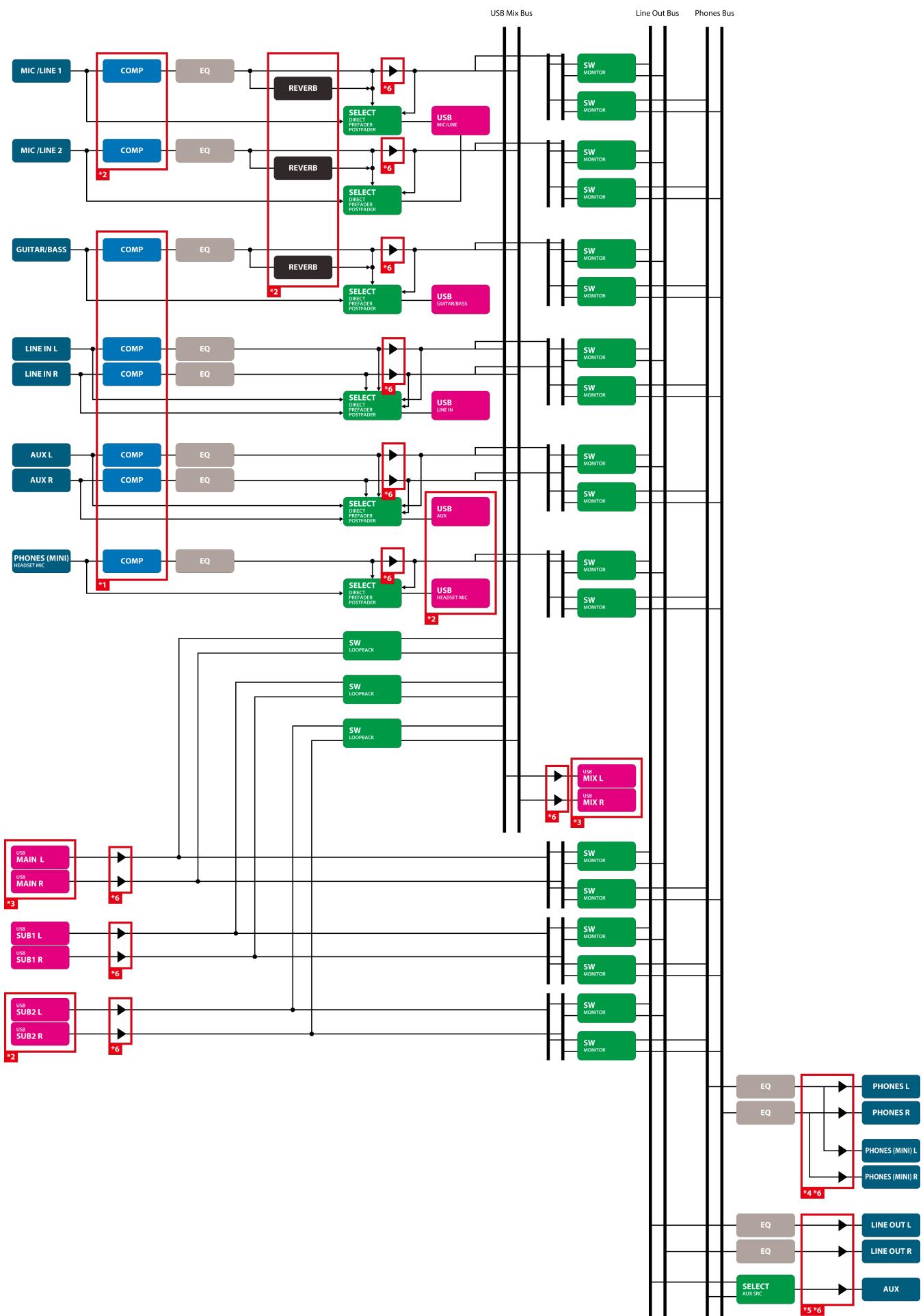
2 フェイスプレートの穴から、ボタンやインジケーターがすべて出ていることを確認します。

3 市販の六角レンチを使って、本体右側のネジ2本 → 本体左側のネジ2本の順にしっかりと締めます。

注意

ネジを強く締めすぎるとパネルや本体を破損してしまう恐れがあります。締めすぎにご注意ください。

ブロック・ダイアグラム



- *1 : サンプル・レートを96kHz、192kHzに設定しているときは使用できません。
- *2 : サンプル・レートを192kHzに設定しているときは使用できません。
- *3 : USB MODEを2chに設定しているときは、このUSBチャンネルのみが有効になります。
- *4 : 「SPLIT MINI」をオンにすると、PHONES端子とPHONES (MINI) 端子の音量を個別に調節することが可能です。
- *5 : 「SPLIT AUX OUT」をオンにすると、LINE OUT端子とAUX端子（出力）の音量を個別に調節することができます。
- *6 : 「▶」は、本体のつまみ操作で音量調節ができる箇所を表しています。

主な仕様

USBオーディオ・チャンネル数	入力：12チャンネル 出力：6チャンネル ※サンプル・レート192kHz時：入力8チャンネル、出力4チャンネル
サンプル・レート	44.1kHz、48kHz、96kHz、192kHz
信号処理	AD/DAコンバーター：24ビット 内部処理：32ビット浮動小数点
接続端子	MIC/LINE (1、2) 端子：XLRタイプ (ファンタム電源DC 48V、10mA) GUITAR/BASS端子：標準タイプ (ハイ・インピーダンス対応) LINE IN (L、R) 端子：標準タイプ AUX端子：ステレオ・ミニ・タイプ (TRRS) PHONES端子：ステレオ標準タイプ PHONES (MINI) 端子：ステレオ・ミニ・タイプ (CTIA、プラグイン・パワー対応) LINE OUT (L、R) 端子：標準タイプ MIDI (IN、OUT) 端子：ステレオ・ミニ・タイプ USB端子：USB Type-C® (USB Audio Class 2.0/1.0、MIDI) POWER端子：USB Type-C®
エフェクト	MIC/LINE：イコライザー、コンプレッサー (*2)、リバーブ (*2) GUITAR/BASS：イコライザー、コンプレッサー (*1、*2)、リバーブ (*2) LINE IN：イコライザー、コンプレッサー (*1、*2) AUX：イコライザー、コンプレッサー (*1、*2) PHONES (MINI)：イコライザー、コンプレッサー (*1、*2) PHONES：イコライザー LINE OUT：イコライザー (*1) サンプル・レート96kHz時は動作しません。 (*2) サンプル・レート192kHz時は動作しません。
シーン・メモリー	16
規定入力レベル	MIC/LINE：-83.0～-8dBu (最大入力レベル：+4dBu) GUITAR/BASS：-44～-4dBu (最大入力レベル：+17dBu (PAD ON)) LINE IN：-4dBu (最大入力レベル：+8dBu) PHONES (MINI)：-22.5dBu (最大入力レベル：-10.5dBu) AUX：-10dBu (最大入力レベル：+2dBu)
入力インピーダンス	MIC/LINE：5.6kΩ (バランス) GUITAR/BASS：1MΩ LINE IN：9.1kΩ PHONES (MINI)：1.5kΩ AUX：9.1kΩ
規定出力レベル	LINE OUT：-4dBu (最大出力レベル：+8dBu) AUX：-32dBu (最大出力レベル：-20dBu) PHONES：-4dBu (最大出力レベル：+8dBu) PHONES：69mW+69mW (32Ω負荷時) PHONES：18mW+18mW (250Ω負荷時)
出力インピーダンス	LINE OUT：1.8kΩ AUX：0.94kΩ PHONES：10Ω
ディスプレイ	グラフィック・カラーLCD 320×240ドット

電源	USBバスパワー USB PD対応ACアダプター（市販品）
消費電流	5V DC、0.5~3A 9V DC、3A
対応OS	Microsoft Windows 11 Apple macOS 15以上 Apple iOS/iPadOS 18以上（USB Type-C®端子搭載機種） ※ 本製品は本動作条件を満たす標準的なパソコンやデバイスで動作を確認しておりますが、この条件下での動作すべてを保証するものではありません。同一条件下でも、パソコン固有の設計仕様や使用環境の違いにより処理能力が異なることをご了承願います。
外形寸法	110（幅）×156（奥行）65（高さ）mm
質量	440g
同梱物	チラシ「はじめにお読みください」（保証書含む） USB Type-C® to USB Type-C®ケーブル（1.5m）

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

GO:MIXER STUDIO

取扱説明書

01

ローランド株式会社

〒431-2103 静岡県浜松市浜名区新都田1-6-4

© 2026 Roland Corporation